

第2回議会報告会質疑応答記録（概要）

平成24年4月20日(金) 午後7時～ 塩尻東（塩尻東支所）

委員会報告

Q 市民

- ・ ごみ処理を広域で共同化実施については市の対応に感謝したい。
- ・ ゴミ袋は有料化で松本市より高いが市民の負担に対する考えはどうか。

A 五味議員

- ・ 塩尻市は今後クリーンセンターの焼却炉大規模改修が必要となり9億円かかり、松本市はゴミ減少で24時間継続して燃やすことが難しくなっている。このようなことから共同処理を行うことになった。
- ・ ゴミ処理の負担金はゴミの量に応じて決まり、松本市はゴミの量一人あたり1に対し塩尻は2/3の量であり、塩尻市はゴミ有料化によりゴミ削減への意識の高さを感じている。塩尻市はゴミ袋有料化で7,000万円の収入となり塩尻市の経費の一部としている。
- ・ クリーンセンターへの持ち込みゴミは4月から100円/10kgから150円/10kgとなり家具なども壊さなくてもよくなった。

Q 市民

- ・ 松本市の焼却炉の改修の見通しについてはどのようになっているのか。負担金はどのように考えているのか。

A 永田議長

- ・ 松本クリーンセンターの改修は現在計画がない。
- ・ 塩尻のクリーンセンターの解体費用は2億円位だが、新組合で行うことになっている。解体の時期は今後検討していく。
- ・ 広域共同処理により市負担分は今までより7,800万ほど減額となる。

Q 市民

- ・ 全国で空き家対策のための条例を施行している自治体が31あると報道されているが、本市でも深刻な状況になる前に対策が必要ではないか。どのように取り組みをしているのか。

A 横沢議員

- ・ 空き家バンク制度をスタートし、空き家の有効活用をはかりたい。都市計画区域外から実施していく
- ・ 所有者の管理など含め、課題はあるが条例については必要があれば充分協議をしていきたい。

Q 市民

- ・ みどり湖パーキングの駐車場の有料化について対応は。下り線の小規模の駐車場が道までいっぱいになり問題になっている。地主に迷惑がかからないようにしてほしい。

A 横沢議員

- ・ 下り線は小さく個人の土地であるが、上り線は市の土地であり今後は24年度末に有料化の予定。
- ・ 個人の土地については利用状況について警察と連携し取り締まりをしていく必要がある。

Q 市民

- ・ 塩尻駅前の駐車場、利用台数増加の目的は。今後は長時間の駐車もできるような料金体系とし、利用の促進を考えているのか。

A 牧野議員

- ・ 駅前一体の改善を計画している。バスの駐車場、観光客の動線、雨よけの整備など一体的に安全性と利便性をはかるための計画をしている。5月中にはっきりとする。
- ・ 駐車場の料金については今後委員会で検討していきたい。

Q 市民

- ・ 駅利用者の利便性や観光客の利便性を向上させていくようにしていくことが必要では。

A 金田副議長

- ・ 駅前は県道であるので、JR利用者や市民の安全性や利便性が図られるよう横断歩道設置の要望をしている。今後に対応を求めていきたい。

意見交換会

Q 市民

- ・ 広丘駅前に市の駐車場が整備されたが、みどり湖駅前は遊休荒廃地が多いが有効利用し、東地区全体の活性化につながるよう駐車場をパーク＆ライドとして利用していく考えはどうか。

A 横沢議員

- ・ パーク＆ライドの考え方はよいと思うが、みどり湖周辺は調整区域となっているので農地法などクリアしなければいけない。また予算や需要がどの位なのか課題となるが、地域の皆さんからも市へ要望して欲しい。そのうえで議会として議論していきたい。

Q 市民

- ・ JRの側道南側の市道は中学生の通学路となっているが153号のバイパスとなり車の通行量が多く危険である。防犯灯の設置を要望するが、上西条と峰原の両区で検討したが財政的に厳しいので対応して欲しい。

A 鈴木議員

- ・ 通学路には必要であるが経費がかかる。また農地なので明かりの影響もあるが東地区全体の課題であるので検討していきたい。

Q 市民

- ・ 観光地のみどり湖では水芭蕉が咲いている。マレットゴルフ場もあるが整備されていない。遊具もなくトイレもなく食堂もない。チロルの森と連携をして桜やれんげつつじやもみじの名所にするなどして観光地化していく考えは。

A 永田議長

- ・ マレットゴルフ場や水芭蕉の周辺が荒れていることは承知している。花公園の整備はされてきているが、マレットゴルフ場のあと利用など早めに対応していきたい。

Q 市民

- ・ JRで駅からハイキングを実施したが、150人位、東京方面から観光客が来ている。今年はみどり湖経由で計画しているので観光地対策について強化して欲しい。

A 横沢議員

- ・ 地域と行政側と一緒にできることから対応を考えたい。

Q 市民

- ・ 栈敷からは毎年事業要望出している内容だが田川の河川敷が上がってきている。草が生えたり土砂がたまり農業用水路へも支障をきたしている所以对応を急いで欲しい。取り組みについて教えて欲しい。

A 横沢議員

- ・ 田川は一級河川で抜本的な対策は県で対応することである。現地を見てもらい担当課へ連携を取り早く対策してもらえるようにしたい。

Q 市民

- ・ 空き家対策、現状調査をして欲しい。個人の財産でなかなか対応できない。家の中の状況はわからないので、近隣にとっては不安は大きい。所有者不在で話ができないことや所有者不明などで苦慮している。

A 横沢議員

- ・ 空き家調査は区長中心に実施し、市内で703戸あり地区ごとに把握している。行政がリーダーシップを取るべきだが、例えば北小野地区では振興会で空き家部会を作っ
て対応している。地域のことは地域の皆さんがよく状況がわかることもあるので、そのような視点で対応して頂き、議会でも行政に対応していきたい。

Q 市民

- ・ 153号線の下にある金井地区にゲリラ豪雨が集中してしまう。対応してもらえないか。長年要望しているがなかなか進まないが状況はどのようになっているのか。

A 横沢議員

- ・ T字路の交差点では処理が難しい。用水路の利用という考えも含めて、県と市が連携をしていくことが大事。雨水対策については、農地も含め現状を調べ報告していく。

Q 市民

- ・ 柿沢の苗圃跡地利用について、のり面の整備が悪く景観が悪い。木を切ってしまったため土砂崩れなどが心配であるが将来的な防災対策はどうなっているのか。
- ・ 市で管理をしている時は土手草を刈っていたが、去年は土手草の管理がされていなかった。今後は責任もって対応してもらえるようにして欲しい。

A 永田議長

- ・ 土地は二者にブドウ畑として貸している。管理については全て個人に契約し行ってもらっている。経過については今後報告していく。